

第2章 川から学ぶ子どもたち

区内には、川を活用した授業を行っている小学校があります。川を通して自然環境を学ぶ2校の取り組みを紹介します。



▲古地図から歴史を読み取る



▲望月寒川で清掃活動

西白石小学校では、近くを流れる望月寒川での河川改修工事をきっかけに、4～6年生の児童が川を教材としたさまざまな環境活動に取り組んできました。望月寒川をより深く知ろうと、古地図から地域の歴史や川の流れの変化を学んだほか、ゲリラ豪雨で水位が上がる仕組みなど気象や災害について理解を深め、川を利用する際の注意点やルールを考えました。

また、実際に川に入って水質や水流を測定、水質調査ではどちらかというと「汚い」という結果が出たことから、川がきれいになるようにポスターを作って美化を呼び掛けたり、町内会と協力して清掃したりしています。平成24年には、環境活動を広げること目標とした「さつぽろこども環境コンテスト」でこれまでの取り組みを発表し、特別賞を受賞しました。

西白石小学校 環境活動

月寒川にぎわい川まつり

川の水や生き物に触れて、身近な自然を感じることができます。子どもが楽しめるプログラムが盛りだくさん！

日時 7月13日(土)10時～15時

※小雨決行。大雨の場合は14日(日)に順延。開催当日、7時に花火を打ち上げます。

会場 月寒河畔緑地・白石区土木センター（本通14丁目南）
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

参加料 100円（保険料含む）

持ち物 運動靴、着替え、帽子、網、虫籠、タオルなど
※小さなお子さんは保護者と一緒にご参加ください。

東白石小学校 サケ学習

東白石小学校では、サケの生態観察を通して「環境保全の大切さ」や「命のつながり」を実感してもらおうと、「サケ学習」を行っています。

5年生の授業では実際にサケに触れて観察したり体長を測ったりするほか、人工授精の体験を行い約半年間学校で飼育します。

春には5cmほどに育った稚魚を、豊平川に全校児童で放流しています。



▲豊平川にサケの稚魚を放流



▲人工授精を体験